

"やっちゃんえ" 鳴高！～鳴高生のみなさんへ校長メッセージ～

「在りたい自分」「在りたい未来」の創造に向けて

今月のテーマは、兵庫県教育委員会が発行している「兵庫教育12月号」随想の特集テーマです。その中に、ワタナベフラワー ボーカルのクマガイ タツロウ氏も5ページにわたる随想を掲載されています。

【鳴高トピックス】 ※詳しくは鳴高HPで

back number

- 普通科2年生修学旅行（沖縄）
(R7.11.11 火～11.14 金)

台風の接近に伴い、大荒れの天気を覚悟して臨んだ沖縄、一部、海のアクティビティで変更はあったものの、大きな影響なく全行程を無事に終え、それぞれに学びのある3泊4日でした。

- “やっちゃんえ”高校生～ビジプラ甲子園～第2回に2年生4名が参加し、優秀賞（賞品：1万円分の図書カード）を獲得！！ 表彰をしていただきました。
(R7.11.16日) @なるお文化ホール

「SDGsで学校改革」

チーム名:寺小屋BK

2-3 法堂 瑞希さん、2-1 長田 尚志さん
2-2 兵頭 一規さん、2-3 佐藤 寿洋さん

Future

- 期末考査 (R7.12.3水～12.9火)
- 学科2年生英国研修旅行
(R7.12.10水～12.16火)
- 終業式 (R7.12.24水)
- 冬期休業 (R7.12.25木～R8.1.7水)



11月号でもお知らせしていたとおり、鳴高では、これから交流の場を中国にも広げ、鳴高生みんなで中国への理解を深めていきます。最近では毎日のように中国に関わるニュースが流れていますが、これから「在りたい未来」を創っていく鳴高生が、グローバルリーダーとして中国に関心を持ち、探究していくと期待しています。そのスタートとして、11月には国際文化情報学科1年生と広州外国语学校の生徒がオンライン交流を行いました。(本校HP11/20投稿) 今後、広州外国语学校との相互の交流をさらに進めています。また、11月4日～13日の間、普通科1年生の富井 都美さんが「中国・広東省との高校生交流事業」で兵庫県を代表して中国広東省を訪問し、様々な体験や学びを深めて帰国しました。さっそく校長がインタビューしたところ、富井さんから溢れんばかりの思いのこもった話を聞くことができました。今回訪問した広東省の仏山第一高校での数々の写真を見せてもらい、10日間の交流を通して仏山第一高校の皆様がどれだけ歓迎でもてなしてくださったかが伝わってきました。兵庫県から派遣された10名や仏山第一高校で交流を深めた高校生の皆さんと今でも電話などのやりとりを続けていて、今回の中国に関わるニュースは、中国でも話題になっているそうです。仏山第一高校の校長先生が「私たちはそれなしで話しをしていこう。」と集会で話されたと聞いて、これからのが「在りたい未来」が見えた気がしました。ここでは書き切れなかったインタビューの詳細は校長ブログでお伝えします。



12月号

鳴高高等学校

笑顔

夢

プロジェクト

<質問コーナー>

※学校外の活動で活躍する鳴高生に校長がインタビューして紹介していく、その第3弾！

【Q】1年 長谷川 祐音さん、どうしてそんなにピアノが得意なんですか！？

【A】お母様が自宅でピアノ教室をされている環境で育ち、2歳10ヶ月頃からレッスンに通い始め、5歳から本格的なレッスンを始めたそうです。

現在は、ピアノを芹澤佳司氏、ソルフェージュを横田秀孝氏に師事し、学校のある日は3時間、休日は7～8時間以上ピアノの練習をしているそうです。小学校4年生のときに日本で最も伝統のある難易度の高い全日本学生音楽コンクールピアノ部門小学校の部で成績を残したのを皮切りに、これまで数々のコンクールに入賞し、ソロコンサートや各コンサートでのゲスト出演などめきめきとピアニストとしてその頭角を現しています。海外教授陣のマスタークラスや公開レッスンにも参加し、積極的にピアノの勉強を欠かさない長谷川さん。今年は、第79回全日本学生音楽コンクール全国大会のピアノ部門高校の部 第1位、併せて横浜市民賞（聴衆賞）も受賞しました。来年2026年(R8)11月23日には、兵庫県立芸術文化ホール

大ホールにて西宮市交響楽団の方々とコンツエルトをする事が決まっています。楽曲はチャイコフスキイを予定しているので、興味のある人は来年是非、観に行つてください。ここでは書き切れなかったインタビューの詳細を校長ブログで紹介していますのでチェックしてみてください。

